

幼児期の発達と学びの連続性を考慮した小学校教育への円滑な接続を図る

～保・幼・こ・小の学びの連続性を通して～

○実践内容

- ・ボランティア委員、飼育委員との交流
- ・公開保育や授業参観の実施
- ・小学校の教師との意見交換や合同研修会の実施
- ・保、幼、ここと意見交換や合同研修会の実施

○説明資料

「お兄ちゃん！お姉ちゃん！一緒に遊ぼう♪」 ～小学校の委員会活動を通して・幼児と児童の関わり～

ボランティア委員との活動の様子



カメの甲羅の洗い方を教えてもらったよ。



お兄ちゃんたちと一緒に幼稚園をきれいに♪ 大きい一輪車に乗せた草。幼児がバランスを崩さないように後ろから支えているお兄ちゃん



委員会のお兄ちゃんたちを幼児たちへ紹介★ 朝の委員会活動だけでなく、掃除後の長い休み時間も利用して、幼稚園へ来てくれるようになり、子供たちとの関わりも増えた。



小学校のお昼の長い休み時間を利用して、仲良くなった小学生と綱引き勝負！

保・幼・こ・小連携 ～教師間の関わり～

- ・併設している小学校の教師が保育参観をし、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を手掛かりとして、幼稚園での生活の様子や幼児が親しんでいる活動について、情報共有をする。
- ・講師招聘をし、保育参観の振り返りを行い、指導助言や講話を通して、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図る。
- ・町内保育所（園）、こども園、公私立幼稚園、小学校の職員を対象に公開保育、保育研究会を実施し、保育の中での様々な気づきを伝え合い、現場での困り感などを互いに共有し、保育の充実に活かす。



7月の公開保育&保育研究会の様子



11月、公開保育&保育研究会の様子



スタカリだより・ようちえんだよりの発行

互いの情報を共有



- ・園生活の様子や幼児が親しんでいる活動などを「ようちえんだより」として小学校へ発信（幼稚園→小学校）
- ・小学校スタートカリキュラムの取り組みを「スタカリだより」として幼稚園へ発信（小学校→幼稚園）

○成果

- ・委員会担当の先生と幼稚園職員が、委員会活動の話し合いを持ったことで、幼児と児童が意図的に関わる時間を設けることができ、他の幼児も、お兄さん、お姉さんとたくさん交流がもてた。
- ・公開保育や保育研究会を通して、保幼こ小の職員が直接顔を合わせ、保育の中での様々な気づきを伝え合い、現場での困り感などを互いに共有ができた機会となり、互いの存在を知り親近感がもてた。
- ・小学校からのスタカリだより（スタートカリキュラムだより）と幼稚園のようちえんだよりを互いに発信し合って情報共有したことにより、幼児・児童の姿を知ることができた。

○課題

- ・小学校教育への円滑な接続を図るためにも、これまでの取り組みを継続的に実施し、保幼こ小連携の体制を整えていきたい。